

# 篠中だより 11月号



校訓 『智』『想』『誇』

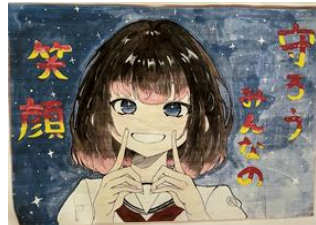
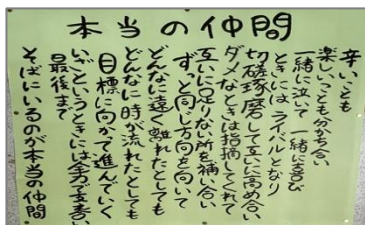
一人ひとりの自己実現(かなえる)に向けて

## 自律

自分で考え、よりよく判断し、行動できる人

令和 6年 11月 22日
篠栗町立篠栗中学校
校長 早川 昌吾
生徒数 630名
1年生 194名
2年生 227名
3年生 209名

## 篠中が温かな空気に包まれた日・・・ 『あったかWEEK』と、最終日の『はあとふる day』



先生・生徒のあったか作品

11月9日(土)は、篠中に関わる人で、「自分と他者ともに大切にするとはいかようなことなのか」を考える一日として『篠中はあとふる day』と銘打って、取り組みました。

【1時間目】は、発達段階に合わせて、それぞれの学年で◇いじめや◇偏見、そして◇言葉が与える影響について考え、交流する道徳に取り組みました。今年のテーマは、普段の学校生活の中で起きることや、何気ない会話の中に潜む心を傷つける言葉についてでした。

生徒の皆さんは、自分事として捉え、考え込んだり、意見を交流し合ったりする姿が多かったと思います。

【2時間目】は、人間関係をより良いものにしていくことを目的に、グループ・ワーク・トレーニングなどの協働的な活動に取り組みました。与えられた課題解決に向けて意見を出し合ったり、力を合わせて謎に挑んだりしていく姿が多く見られ、それぞれの教室にさわやかで温かい空気が流れていました。



1・2時間目は、保護者の方々に参観していただき、学級の雰囲気を感じてもらいました。その際、ご協力いただいたアンケートにおいては、以下のような感想をいただきました。

### 【1年】

- 学級活動の授業は楽しい雰囲気づくり、参加型で生き生きとした生徒の姿が見られ、良い学び合いの授業ができており、参観している保護者からも笑みが溢れていた。
- 人の印象はそれぞれ感じ方が違うと思うが、受け止め方で全部良い個性に変わるな～と感じた。思いを言葉に出したくても、なかなか言えない子中にはいるんだろうなと思って見てたが、先生が良く見ていてフォローしているように感じた。とてもいい時間だったと思う。

### 【2年】

- 生徒に上手く振って、生徒も楽しめていたと感じた。また、先生と生徒の発言する時間のバランスが程良く、一方的な先生の授業ではない、一体感を感じられる授業であった。見ている方も、とても楽しい授業でした。
- 授業中は先生の話の時は静かにして耳を傾けている姿は家とは違う一面が見れてよかった。
- ヒントをもとに考えるのは難しかったが、親も参加できて楽しかった。



### 【3年】

- あたたかい言葉について学ぶ機会が増え、クラス内の雰囲気もたがいに関係がよくなると思う。
- 3年間でもとても成長したと思った。生徒同士も楽しそうにしている姿を見て楽しかった。
- 中学校最後の参観で子供達の様子が見られて良かったです。受験に向けて日々の疲れストレス等ある中で頑張っている子供達を陰ながら応援したいです。



そして、3時間目は、安武 信吾 さんの講演を聞くことができました。

『(中略) 早起きしてみそ汁をつくること —— それが逝った三十三歳の母と五歳の娘の「約束」だった。生きることは食べること。生きる力に心を揺さぶられる、家族の物語。』という、著書「はなちゃんのみそ汁」で、「命」「絆」「愛」について考えさせられたことを覚えていますが、当日の講演は、『食べることは生きること』をテーマに、心に響く話を聞かせてもらいました。

講演終了後は、3年の■■■■さんが生徒を代表して「私は料理ができませんが、今、私が持っている“失敗する権利”を使って、たくさん挑戦して、できないことをできるようにしていきたいです。」と、心こもったお礼の言葉を安武さん、はなさんへ伝えることができました。

はなさん本人と■■■■さん



【篠中はあとひる day】の最後（フィナーレ）は、生徒一人ひとりが書き込んだ温かいメッセージが輪つなぎでつなぎ合わせ、みんなの想いがつながり、一つの大きな輪として形になりました。

そして、生徒会長の■■■さんが、今年の「生徒会人権宣言」を高らかに読み上げました。



## 調和 ～話・環・輪～



## 篠中生徒会 人権宣言

全校生徒のあたたかな言葉が今、一つの輪になりました。

これから私たちは、**あたたかな言葉を共にかけ合い、誰もが人として、そして安心して過ごせる学校**を私たちの手で創っていきましょう。

今、生徒会役員である私たちが役員として活動できる期間は残り一か月しかありません。

一年間、『調和 ～話・環・輪～』というスローガンを常に心にとめて、お互いに認め合える学校をめざして活動してきました。

それらの活動は、あたたかい心をもったみなさんの協力によって成立し、成功したものです。

このあたたかい篠中生の中にいる次の役員にも篠中のあたたかさを大切にしてほしいと思います。

私たちの代だけでは成し遂げられなかったこともあります。

それらを次の代の皆さんに話します。

篠中の伝統を守りつつ、新しい篠中を創っていきましょう。



生徒会長 ■■■ さんから  
篠中生徒会人権宣言

## スポーツの秋！ 中体連新人大会 FIGHTです！ 篠中!!

10月から始まった新人大会。3年生から引き継いだ2年生を中心としたチームで練習の成果を発揮しようと、一生懸命に頑張りました。柔道女子団体戦では筑前地区大会優勝。ソフトボール部は糟屋区優勝、女子バスケット部は3位、陸上部・卓球部・男女テニス部・剣道部は筑前大会進出など、新チームにおいても素晴らしい活躍を見せてくれています。

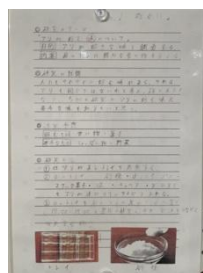


## 文化の秋！ 中文連総合発表会

11月17日（日）クリエイト篠栗にて『糟屋区中文連総合発表会』が開催され、吹奏楽部・太鼓部のステージ発表、理科研究、家庭科・美術科の作品展示、茶道部のお点前披露など、日頃の学習や練習の成果を発揮するよい機会となったようです。



美術科作品



理科自由研究



家庭科作品



茶道部のお茶会

## 校外でも活躍する仲間の紹介

今月号では、校外で活躍する生徒にスポットを当てて紹介します。

2年生の■■■君と■■■さんは、ボーイスカウトという自主性やリーダーシップなどを学ぶ世界的活動に参加しています。8月に阿蘇で行われた『第10回九州ブロック野営大会』に参加し、その時の体験を西日本新聞こどもタイムズで紹介できました。



3年生の■■■君は、本校バレーボール部で活躍していましたが、この度、12月25日から行われる『全国都道府県対抗 中学生バレーボール大会』に福岡県の代表選手として出場することになりました。



がんばれ！■■■君！！